

事業主体名	沖縄市					
令和5年度沖縄振興特定事業推進費(市町村)検証シート						
事業名	バスケットボールの魅力を高めるレガシー構築事業				担当部課名	企画部 プロジェクト推進室
					認定市町村名	沖縄市
広域性要件または先導性要件の該当有無	<input checked="" type="checkbox"/>	広域性要件	現年事業または繰越事業	<input checked="" type="checkbox"/>	現年事業	事業実施(予定)年度
	<input type="checkbox"/>	先導性要件		<input type="checkbox"/>	繰越事業	
事業内容	<p>バスケットボールの魅力を高めるレガシー構築事業</p> <p>バスケットボールの大会主催者であるFIBAより、大会デザインのバックボードや大会使用ボールの提供を受けることとなったことに伴い、市内公園(4か所)のバスケットボールコート機能強化整備(FIBAバスケットボールワールドカップ2023のデザインが施されたバスケットボールコートへ改修、遮熱性ゴムチップ舗装の採用)を実施する。</p>					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)			令和5年度			
	予算の状況	当初予算額	0			
		増減額	63,932			
		予算現額	63,932			
		前年度から繰越	0			
		翌年度へ繰越	0			
	計(A)	63,932	0	0	0	
	執行済額(B)	59,950				
	うち補助金充当額	45,496				
	不用額	3,982				
執行率(%) (B/A)	93.8%					
予算の状況の説明	不用額の3,982千円は入札執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況				
	工事	目標	令和5年度	年度	年度	年度
		実績	4公園施工			
		目標	4公園施工			
		実績				
	達成状況説明	市内4公園(八重島公園、マンタ公園、美里第一公園、いしくぶ公園)のバスケットボールコートにFIBAバスケットボールワールドカップ2023のデザインが施されたデザインコートへ改修し、計画通り事業を完了することができた。				
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値 (H27,H28,R4年度の平均)	令和5年度	令和6年度	年度	年度
	沖縄県のバスケットボール競技者新規登録数	目標	500人	—	500人	
		実績	—	931人	428人	
	成果目標(指標)	基準値 (年度)	年度	年度	年度	年度
	進捗状況説明	目標				
		実績				
直近10年(H25~R4年度)において、競技者新規登録数の多かった3年間(H27,H28,R4)の平均を基に目標値を設定。 令和5年度に整備したため、令和6年度の新規登録者数にて評価予定。 令和5年度においてはバスケットボール競技者数新規登録数が931人となった。 令和6年度においてはバスケットボール競技者数新規登録数が428人となった。						

成果目標に対する原因・要因分析		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>令和5年度においてはバスケットボール競技者数新規登録数が931人と大きく増加しており、要因はFIBAバスケットボールワールドカップ2023が開催されたことに加え、沖縄バスケットボール協会や各種マスコミによる大会PR活動などが増えたことで、普段に比べて県民がバスケットボールに関連する取り組みに触れる機会が増えたことも影響していると考えられる。</p> <p>令和6年度においては428人と令和5年度と比べ新規登録数は減少しているが、直近10年の新規登録数の推移として、FIBAバスケットボールワールドカップ2023の各種マスコミによる大会PR活動が行われていた令和4年度、令和5年度を除き、最も多い登録者数となっている。目標未達成の主な要因は、バスケットボールへの関心を高める周知、広報活動が不足していたことによる影響と考えられる。</p>	<p>FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催による効果を一過性のものにせず、引き続きバスケットボール競技者数を増加させるために、催事を企画する必要がある。また、市のみではなく、沖縄県や沖縄県バスケットボール協会との連携強化を図り、広報活動等に取り組む必要がある。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>本事業で市内公園に設置した大会デザインのバスケットコートの日常的な利用や、レガシーに触れる機会を損なわないように美観を保つことに加え、ワールドカップの沖縄ラウンドの開催期間だった8月25日から9月3日にバスケットボールデーとして催事を行うなど、FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催地としての経験や優位性を活かし、バスケットボールに関連した催事等を継続的に企画していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	補助対象事業費	補助金	補助対象外経費
	59,950	56,870	45,496	3,080
<pre> graph LR A[沖縄市 59,950千円] --> B[工事請負費 59,950千円] B --> C[株式会社 富建 59,950千円] subgraph D [市内バスケットコート改修工事] C end </pre>				

資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	契約の相手方は入札による選定及び地方自治法の規定に基づいており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	不用額は事業費の10%以内であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。